瀬戸市職員の勤務時間、休暇等に関する規則の一部を改正する規則をこ こに公布する。

令和7年10月1日

瀬戸市長 川本雅之

瀬戸市規則第27号

瀬戸市職員の勤務時間、休暇等に関する規則の一部を改正する規則 瀬戸市職員の勤務時間、休暇等に関する規則(平成7年瀬戸市規則第3 号)の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下 線で示すように改正する。

以正後	以正則
(育児短時間勤務職員等に正規の勤務時間以外	(育児短時間勤務職員等に正規の勤務時間以外
の時間における勤務を命ずることができる場合	の時間における勤務を命ずることができる場合
)

第8条の2 条例第8条第1項ただし書の規則で第8条の2 条例第8条第1項の規則で定める場 定める場合は、第6条第1項第3号に掲げる勤 合は、第6条第1項第3号に掲げる勤務を命じ 務を命じようとする時間帯に、当該勤務に従事ようとする時間帯に、当該勤務に従事する職員 する職員のうち育児短時間勤務職員等以外の職 のうち育児短時間勤務職員等以外の職員に当該 員に当該勤務を命ずることができない場合とす 勤務を命ずることができない場合とする。 る。

34.丁%

2 条例第8条第2項ただし書の規則で定める場2 条例第8条第2項の規則で定める場合は、公 定する勤務を命じなければ公務の運営に著しい 支障が生ずると認められるときとする。

(病気休暇)

第14条 <省略>

2から5まで <省略>

定は、臨時的任用職員(法第22条の3の規定 定は、臨時的任用職員(法第22条第5項の規

动力设置

合は、公務のため臨時又は緊急の必要がある場務のため臨時又は緊急の必要がある場合におい 合において、育児短時間勤務職員等に同項に規 て、育児短時間勤務職員等に同項に規定する勤 務を命じなければ公務の運営に著しい支障が生 ずると認められるときとする。

(病気休暇)

第14条 <省略> 2から5まで <省略>

6 第1項ただし書及び第2項から前項までの規6 第1項ただし書及び第2項から前項までの規

により任用された職員をいう。)及び条件付採 定により任用された職員をいう。)及び条件付 用期間中の職員には適用しない。

(特別休暇)

第15条 条例第14条の規則で定める場合は、第15条 条例第14条の規則で定める場合は、 各号に定める期間とする。

(1)から(7)まで <省略>

(8) 生後1年に達しない子を育てる職員が、そ (8) 生後1年に達しない子を育てる職員が、そ の子の保育のために必要と認められる授乳等 を行う場合 1日2回それぞれ30分以内の 期間(男性職員にあっては、その子の当該職 員以外の親が当該職員がこの号の休暇を使用 しようとする日におけるこの号の休暇(これ に相当する休暇を含む。) を承認され、又は 労働基準法第67条の規定により同日におけ る育児時間を請求した場合は、1日2回それ ぞれ30分から当該承認又は請求に係る各回 ごとの期間を差し引いた期間を超えない期間

(9)から(20)まで <省略>

2から4まで <省略>

(介護休暇)

第16条 <省略>

2及び3 <省略>

4 1時間を単位とする介護休暇は、1日を通じ4 1時間を単位とする介護休暇は、1日を通じ 4時間を超えない範囲内の時間とする。

(条例第16条の2第2項の規則で定める期間

第25条 条例第16条の2第2項の規則で定め る期間は、同項に規定する対象職員の子が1歳 11か月に達する日の翌々日から2歳11か月 に達する日の翌日までの1年間とする。

(その他の事項)

採用期間中の職員には適用しない。

(特別休暇)

次の各号に掲げる場合とし、その期間は、当該次の各号に掲げる場合とし、その期間は、当該 各号に定める期間とする。

(1)から(7)まで <省略>

の子の保育のために必要と認められる授乳等 を行う場合 1日2回それぞれ30分以内の 期間(男性職員にあっては、その子の当該職 員以外の親が当該職員がこの号の休暇を使用 しようとする日におけるこの号の休暇(これ に相当する休暇を含む。) を承認され、又は 労働基準法(昭和22年法律第49号)第6 7条の規定により同日における育児時間を請 求した場合は、1日2回それぞれ30分から 当該承認又は請求に係る各回ごとの期間を差 し引いた期間を超えない期間)

(9)から(20)まで <省略>

2から4まで <省略>

(介護休暇)

第16条 <省略>

2及び3 <省略>

、始業の時刻から連続し、又は終業の時刻まで 連続した4時間の範囲内とする。

(その他の事項)

附 則

この規則は、公布の日から施行する。